



人生で一番多感な少年期から青年期を東住吉区で過ごし、その後大阪市立大学の学生の時代から作品を発表し始め、「裸の王様」で第38回芥川賞を受賞し純文学・ノンフィクション・エッセイなど幅広い分野で名作を発表し、その作品は、今なお多くの読者を魅了しています。今回の展示品のほとんどは、「オーパ、オーパ!!」の取材に同行し、食事と同作品を支えた谷口博之氏(辻調理師専門学校 日本料理特任教授)のご協力により思い出の品々を数多くご提供頂き開催することが出来ました。

世界の旅人

開高健

オーパ!

展

2015 **6.19** FRI **7.15** WED

開催時間/9時15分~20時30分 月曜日~金曜日(第1・第3木曜日は休館) 土曜日、日祝日は17時まで **入館無料**

開催場所/大阪市立中央図書館エントランスホールギャラリー 大阪市西区北堀江4-3-2

交通案内/地下鉄千日前線・長堀鶴見緑地線西長堀駅下車 7号出口すぐ

講演会
日程

●6月28日(日)午後2時/講師 谷口博之氏(辻調理師専門学校 特任教授)
講演テーマ「オーパ料理人が見た素顔の開高健」
谷口さんには講演当日の午前中、展示会場での説明もしていただけます。

●7月5日(日)午後2時/講師 来田仁成氏(釣り文化協会代表理事)
講演テーマ「釣りと自然環境問題に果たした開高健の役割」

■両日とも 作花清夫氏(京大名誉教授、開高健と旧制中学の同級生)による思い出話

会場/大阪市立中央図書館 5階会議室 **参加無料**

プロフィール

●1930年大阪市に生まれる ●1943年旧制大阪府立天王寺中学入学 ●1953年大阪市立大学卒業 ●1954年壽屋(現サントリー)宣伝部に入社 ●1957年「裸の王様」で第38回芥川賞を受賞 ●1964年特派員としてベトナム戦争に従軍 ●1970年以降は世界各国で釣を行い釣魚紀行なども書き、また食通でも知られ、食と酒に関するエッセイも数多くある。 ●1989年享年58歳で死去 ●神奈川県茅ヶ崎市の邸宅は開高健記念館として開設されている。



■共催/大阪市立中央図書館、開高健関西悠々会
■協力/東住吉区役所、辻調理師専門学校、NPO釣り文化協会、公益財団法人 開高健記念会